

## 日本共産党議員団（若林 志津子 議員）

小・中学校へのエアコン設置については、特別教室を含む全教室に整備されました。そのことは、あたかも新型コロナウイルス感染症で学校が休業することを予見したような対応だったと感じさせるものでした。「全国一短い夏休み」と言われましたが、エアコンを使用しての授業は快適に実施されたと考えています。

また、光回線が整備されていなかった北部地域に、ふるさと納税の財源を使い整備したことも小中学生への1人1台パソコンの配備にとって大きなメリットになりました。

まだ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中ですが、パソコンを使っただけの授業や自宅での家庭学習や登校できない時の対策など対応の幅が大きく広がっていくと期待しています。

## 富岳会（松永 孝男 議員）

令和元年度は緩やかな好景気の中、消費税10%への引き上げの影響も少なく、前年に比べ市税が約2億8千万円、寄附金（ふるさと納税）が約2億7千万円の増額（前年比約36.3%増。返礼品、手数料等を差引いた約4億4千万円が歳入に組み込まれた）など、一般会計歳入合計は535億8900万円になりました。

一方、一般会計歳出は507億4600万円です。翌年度繰越分の4億2200万円を除いた実質収支は24億2050万円の黒字と、健全な市政運営が確認できました。

また、主な事業としては小・中学校の全ての教室にエアコンを設置したこと、市内全域への光ファイバ網の敷設があげられます。今後はこの新しいインフラが教育の成果や、都会からの移住・定住につながるようしっかりと注視していきます。

## 令和（深澤 竜介 議員）

税金が有効に使われているか否かについて、特に以下の3点に注目しました。

- ①首都圏シティセールス日本在住外国人に向けた情報発信業務  
…情報発信力の高い外国人をレストランに招き、本市をPRするイベントを行った。というものでありましたが、その後事業の効果（本市の魅力の情報発信）が適切になされたかどうか。
- ②観光誘客活動事業  
…ラグビーW杯や東京五輪に向けた適切なスケジュールで事業を行うことができたのか。
- ③コロナ禍にあって、特に歳入での影響と令和2年度と令和3年度予算に与える影響はどうか。

## 公明会（齋藤 和文 議員）

令和元年度は、オリンピック・パラリンピックに向けた経済堅調、個人意識の高揚が全体的にありましたが、年度末から新型コロナウイルス感染症の影響が経済に出始めました。

決算では、歳入においては10月からの消費税10%、2～3月の新型コロナウイルス感染症の影響は少なく、全体的に堅調であり市の貯金ともいえる財政調整基金は50億円を積み上げました。施策では、富士宮市・芝川町合併10周年記念事業を行い、ジブリ音楽のファミリーコンサート、幼児教育・保育の無償化、SDGs元年の取組、首都圏シティセールス、移住・定住策の推進、観光誘客事業、ご遺族手続き支援コーナーなど将来への取組が多く行われました。令和3年度予算編成では、経済の落ち込みが憂慮ゆうりょされます。市にはコロナ禍を大きな変革期と捉え臨んでいただきたいです。